

創立 80 周年記念事業 第 4 回実行委員会（報告）

令和 7 年 10 月 2 日(木)本校図書館において、80 周年記念実行委員会を開催しました。
会議では、下記のとおり各委員会から事業の報告及び提案・確認等が行われました。

記

（１）総務委員会

- ① 12 月 6 日（土）記念式典当日の日程、役割分担の確認・・・別添・資料(a)
- ② 午後の祝賀会の会場を体育館から大宜味村農村環境改善センター変更することが提案
→（承認） ※13:00～13:30 マイクロバスで学校から改善センターへ会場移動
- ③ これまでの話し合いで祝賀会は会費制（飲食料金の見積もりによって料金を決める）と
していたが、寄付金を支払っている人から会費を取ると二重支払いになるのではないかと、意見があった。
→（再審議）各委員会で食事代金、印刷代、予算等、詳細を確認・調整し、10 月 22 日
(水)実行委員会を開催し話し合うこととした。

（２）事業委員会

- ① 芸能公演（8 月 30 日）・・・本校関係の出演者及び、地域住民、教職員、生徒、保護者の協力で無事終えることができた。
・資金造成に関しては、赤字にはならなかったという収支の結果であった。
- ② 今後の事業紹介：辺高祭（10 月 4 日）80 周年後夜祭について

（３）財務委員会・・・会計報告（中間）の説明、概要は以下のとおり

- ① 収入：三村補助金として、国頭村・大宜味村・東村から、合計 200 万円の補助金をいただきました。三村の皆様には感謝！
・寄付金として、団体・個人から合計 80 万円弱 ※達成率約 10%で厳しい状況
・記念 T シャツ販売は約 70 万円、芸能公演チケット販売は約 50 万円

（４）記念誌委員会・・・現在、各あいさつ等、原稿を集めている段階との説明。



以上

資料(a)

R7.10.2 周年事業実行委員会

辺土名高等学校 創立 80 周年記念行事日程（案※調整中有り）

- 実施日・会場 令和 7 年 12 月 6 日（土） 辺土名高等学校 体育館・農村環境改善センター
- 会場作成 前日（12/5） 6 校時 全体掌握 渡慶次 央子
- 当日の日程
 - 10:00 ～ 11:30 記念講演（90 分）
 - 11:45 ～ 13:00 記念式典（75 分）
 - 13:00 ～ 13:30 会場移動 辺土名高校 → 農村環境改善センター
体育館の片付け、生徒の帰宅指導
 - 13:30 ～ 15:30 祝賀会（立食形式。食事はオードブルを準備）
- 記念講演 10:00 ～ 11:30 司会 比嘉 修
 - 1. 講師紹介 校長 桃原 健次
 - 2. 講演 演題「琉球弧に国立自然史博物館を創ろうという構想について（仮称）」
 - 3. 講師 西田 睦（にしだ むつみ）
琉球大学元学長 東京大学名誉教授
 - 4. お礼の言葉 実行委員長 宮城 聡治
- 記念式典 11:45 ～ 13:00 司会 比嘉 修
 - 1. 開式のことば 副委員長 平良嗣男
 - 2. 校訓斉唱 生徒会
 - 3. 校歌斉唱 指揮【 今後調整 】
伴奏【 今後調整 】
 - 4. 学校沿革概要並びに記念事業経過報告 教頭 高江洲 奈
 - 5. 記念品贈呈 実行委員長 宮城 聡治
 - 6. 式辞 校長 桃原 健次
 - 7. あいさつ 県教育長 半嶺 満(挨拶文)
実行委員長 宮城 聡治
同窓会長 金城 孝忠
生徒会長 朝倉 陽太
 - 8. 感謝状贈呈
 - (1) 歴代校長 24 代～27 代 校長 桃原 健次
 - (2) 歴代 PTA 会長 35 代～40 代 校長 桃原 健次

- | | |
|-----------------|--------------|
| (3) 記念事業関係者 | 実行委員長 宮城 聡治 |
| (4) 国頭村・大宜味村・東村 | 実行委員長 宮城 聡治 |
| (5) 高額寄付者 | 実行委員長 宮城 聡治 |
| 9. 受賞者代表挨拶 | 24 代校長 濱口 寿夫 |
| 10. 祝電披露 | 事務長 高原 強志 |
| 11. 閉式の言葉 | 教頭 高江洲 奈 |
- 会場移動 13:00 ～ 13:30 辺土名高校 → 農村環境改善センター
自家用車で来校の方は各自で移動。移動用のマイクロバス 2 台を準備する。
 - ◇ 学校車バス運転手 【 今後調整 】
 - ◇ 大宜味村社協バス運転手 【 今後調整 】
-
- 体育館会場片付け 13:00 ～
 - ◇ 生徒掌握 → 片付け後は SHR(帰宅指導)
 - ※ 祝賀会に参加者する生徒は会場移動
 - ◇ 自然史博物館対応構想展示の片付け
-
- | | |
|---------------------|------------------------|
| ● 祝賀会 13:30 ～ 15:30 | 司会 副委員長 高橋敬子 遠矢朋子 横田み美 |
| 1. 開式のことば | 同窓会副会長 |
| 2. 幕開け かぎやで風 | 【 今後調整 】 |
| 3. 乾杯の音頭 | (大宜味村村長 友寄 景善 (けいぜん)) |
| 4. サイエンス部 活動報告 | サイエンス部 |
| 5. 祝辞 | (国頭村村長 知花 靖 (やすし)) |
| 6. 祝辞 | (東村村長 當山 全伸 (まさのぶ)) |
| 7. 余興：獅子舞 | 国頭サバクイ保存会 |
| 8. 余興：安田太鼓 | 安田太鼓保存会 |
| 9. 謝辞 | 校長 桃原 健次 |
| 10. 閉式のことば | 総務委員長 田場 盛久 |

資料(a)

R7.10.2 周年事業実行委員会

辺土名高等学校 創立 80 周年記念行事日程 (案※調整中有り)

- 実施日・会場 令和 7 年 12 月 6 日 (土) 辺土名高等学校 体育館・農村環境改善センター
- 会場作成 前日 (12/5) 6 校時 全体掌握 渡慶次 央子
- 当日の日程

10:00 ～ 11:30 記念講演 (90 分)
 11:45 ～ 13:00 記念式典 (75 分)
 13:00 ～ 13:30 会場移動 辺土名高校 → 農村環境改善センター
 体育館の片付け、生徒の帰宅指導
 13:30 ～ 15:30 祝賀会 (立食形式。食事はオードブルを準備)

- 記念講演 10:00 ～ 11:30

1. 講師紹介 2. 講演 演題「琉球弧に国立自然史博物館を創ろうという構想について (仮称)」 3. 4. お礼の言葉	司会 比嘉 修 校長 桃原 健次 講師 西田 睦 (にしだ むつみ) 琉球大学元学長 東京大学名誉教授 実行委員長 宮城 聡治
---	---

- 記念式典 11:45 ～ 13:00

1. 開式のことば 2. 校訓斉唱 3. 校歌斉唱 4. 学校沿革概要並びに記念事業経過報告 5. 記念品贈呈 6. 式辞 7. あいさつ 8. 感謝状贈呈 (1) 歴代校長 24 代～27 代 (2) 歴代 PTA 会長 35 代～40 代 (3) 記念事業関係者 (4) 国頭村・大宜味村・東村 (5) 高額寄付者 9. 受賞者代表挨拶 10. 祝電披露 11. 閉式の言葉	司会 比嘉 修 副委員長 平良嗣男 生徒会 指揮【 今後調整 】 伴奏【 今後調整 】 教頭 高江洲 奈 実行委員長 宮城 聡治 校長 桃原 健次 県教育長 半嶺 満(挨拶文) 実行委員長 宮城 聡治 同窓会長 金城 孝忠 生徒会長 朝倉 陽太 校長 桃原 健次 校長 桃原 健次 実行委員長 宮城 聡治 実行委員長 宮城 聡治 実行委員長 宮城 聡治 24 代校長 濱口 寿夫 事務長 高原 強志 教頭 高江洲 奈
--	---

- 会場移動 13:00 ～ 13:30 辺土名高校 → 農村環境改善センター
 自家用車で来校の方は各自で移動。移動用のマイクロバス 2 台を準備する。
 - ◇ 学校車バス運転手 【 今後調整 】
 - ◇ 大宜味村社協バス運転手 【 今後調整 】

● 体育館会場片付け 13:00 ～

☆ 生徒掌握 → 片付け後は SHR(帰宅指導)

※ 祝賀会に参加者する生徒は会場移動

☆ 自然史博物館対応構想展示の片付け

● 祝賀会 13:30 ～ 15:30
田み美

1. 開式のことば

2. 幕開け かぎやで風

3. 乾杯の音頭

4. サイエンス部 活動報告

5. 祝辞

6. 祝辞

7. 余興：獅子舞

8. 余興：安田太鼓

9. 謝辞

10. 閉式のことば

● 片付け

司会 副委員長 高橋敬子 遠矢朋子 横

同窓会副会長

【 今後調整 】

(大宜味村村長 友寄 景善 (けいぜん))

サイエンス部

(国頭村村長 知花 靖 (やすし))

(東村村長 當山 全伸 (まさのぶ))

国頭サバクイ保存会

安田太鼓保存会

校長 桃原 健次

総務委員長 田場 盛久

PTA・同窓会